

製品名: CCS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08169**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	CCS
別名	CCS; Copper chaperone for superoxide dismutase; Superoxide dismutase copper chaperone
遺伝子 ID	9973.0
SwissProt ID	O14618
免疫原	抗血清はヒト CCS 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 225-274

背景

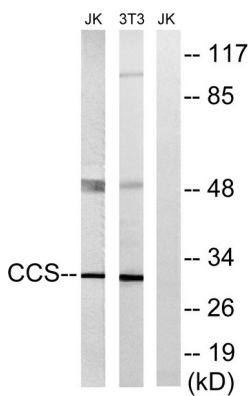
スーパーオキシドディスムターゼの銅シャペロンは、銅/亜鉛スーパーオキシドディスムターゼに特異的に銅を送達し、銅補因子を直接挿入することで銅/亜鉛スーパーオキシドディスムターゼを活性化する可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月],補因子: サ

サブユニットあたり 1 個の亜鉛イオンを結合します。補因子: サブユニットあたり 2 個の銅イオンを結合します。機能: 銅を銅亜鉛スーパーオキシドディスムターゼ (SOD1) に送達します。類似性: 1 つの HMA ドメインを含みます。類似性: C 末端セクションに存在し、Cu-Zn スーパーオキシドディスムターゼファミリーに属します。サブユニット: ホモダイマー、および SOD1 とのヘテロダイマー。組織特異性: 普遍的。

研究分野

筋萎縮性側索硬化症 (ALS)

画像データ



CCS 抗体を用いた NIH/3T3 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。